

6月19日月曜日、ゾウのラRadza Jr がワイルドランズで亡くなりました。これは若い雄象を移動させたときに起こりました。

Radza Jr とEinga Thaはその日、イタリアの動物公園に移送される予定だった。どちらの動物も事前に訓練されており、移動するコンテナに慣れていました。Einga Tha (13 歳) の場合はかなり順調に進みましたが、Radza Jr (9 歳) を移動コンテナに移すときは、彼を落ち着かせる必要がありました。残念ながら麻酔から目覚めませんでした。当然のことながら、Radza Jr の死は動物管理チームにとって非常に大きな衝撃を与えました。

「大きな」Radzaの息子としてエメンで生まれる

Radza Jr は 2014 年にエメンで生まれました。彼は前年 (2013年) に亡くなった雄象Radzaの最後から2番目の息子でした。したがって、彼は父親にちなんで名付けられました。2014年後半、Radzaシニアの別の息子が生まれました。Raviです。Radza Jr と一緒に、このペアは多くの冒険を経験しました (下の写真を参照。2014 年に旧エメン動物園で撮影されました)。その後、公園のソーシャルメディア チャンネルを通じて追跡することができました。Raviは今でもエメンのゾウの群れの一員です。

ワイルドランズ の 2 つのゾウのグループ

エメンの群れには現在、1月に生まれた子ゾウのNagarを含む計10頭のゾウがいる。これらの動物は通常、ワイルドランズでは 2 つのグループに分かれて暮らしています。一方では、家族は女性と若い雄象、そして別の男性のグループと一緒に群れをなしていました。これは動物園にとっては特殊な状況です。なぜなら、そこには家族が住んでいるか、雄ゾウのグループだけが住んでいることが多いからです。両方のグループがエメンで飼育されているため、通常、雄のグループに加わるために6~8歳頃に家族を離れる若い雄象は、より長くワイルドランズに滞在することができます。動物園のアジアゾウの個体数を遺伝的に健康に保つために、EEP という繁殖プログラムがあります。彼らの目標は、ゾウの遺伝的変異を可能な限り大きく、健康に保つことです。繁殖ペアは、互いに血縁関係のない種牡馬台帳から形成されます。ブライドルプ動物園 (ロッテルダム) は、アジアゾウの国際繁殖プログラムをコーディネートしています。

Einga Thaが無事イタリアに到着

アジアゾウの EEP は、Radza Jr の死後すぐに報告を受けました。Einga Thaはイタリアに連れて来られ、現在はポンビアのサファリパークの新しい場所に無事います（下の写真を参照）。ワイルドランズ の 2 人のゾウの飼育員が、最初の数日間、彼が新しい環境に慣れるのを手伝ってくれました。